

## 審査結果概要書

平成 24 年 1 月 23 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	コンクリート製品の乾燥工程におけるバイオマス燃料ボイラー導入事業
排出削減事業者名	美建工業株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
その他関連事業者名	
事業実施場所	美建工業株式会社 ( 広島県三原市大和町大草 291 - 1 )
事業の概要	本事業は、既存 A 重油ボイラーから、バイオマスボイラーを導入することにより、CO2 排出量の削減を行う。
排出削減量の計画	2011 年度 : 55 tCO2/年 2012 年度 : 83 tCO2/年 ( 事業実施機関合計 138 tCO2 )
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2011 年 8 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

### 3 . 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、2011年12月7日に事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：美建工業株式会社 (広島県三原市大和町大草 291 - 1)</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の順守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能であること 本事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備(A重油ボイラー)を継続して利用することが可能であったことを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時での既存設備の導入実施時期の確認により確認している。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により投資回収不能であることを確認している。なお、本事業の実施にあたっては、投資回収不能であっても、低炭素化への企業取り組みの一環として、バイオ燃料を導入していることを質問により確認した。投資回収年数計算の根拠データについては、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。また、投資回収年数については設備投資額から補助金を差し引いた純投資額をもとに算出していることを確認している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 美建工業は、全社で ISO9001 を取得し、顧客満足を高める努力を重ねると共に、地球環境にも排水をはじめとして、法規制を順守し、様々な取り組みを行ってきた。昨年から省エネ法対象事業所となったため、省エネルギー対策低炭素対策は、特に力を入れており、石油燃料の使用量を削減するために、バイオ燃料導入を決定した。そのような事業者の想いと、国内クレジット制度の京都議定書目標達成という意義がマッチし、申請に至ったことを確認している。以上の通り、本事業は国内クレジット制度への参加を意図して実施されたものであり、追加性があると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無について、訪問時の事業者への質問、その他関係者への質問により自主行動計画に参加している事業者でない事を確認した。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、該当する適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p>適用条件 1 については、バイオマスへの燃料転換であり、効率の改善は問われない。</p> <p>適用条件 2 については、本事業によりバイオマスボイラーへの更新を行わなかった場合、既存の A 重油ボイラーを継続的に利用できることを関連資料及び関係者への質問により確認している。</p> <p>適用条件 3 については、バイオマスボイラーにより生産した蒸気は自家消費しており、他への供給はないことを確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p> <p>3) ベースライン排出量の算定に係る既存設備の最大利用期間についていずれの設備も法定耐用年数の 2 倍を超えていないことを確認している。</p> <p>4) 本事業に使用するバイオマス燃料の輸送等に係るリーケージ排出量については、輸送燃料が BDF であるため、排出量は 0tCO<sub>2</sub>となる。よって本削減事業のリーケージは発生しないことを、事業者への質問及び燃料供給事業者の情報等から確認している。</p>
----------------------------	--

#### 4 . 特記事項

廃油は広島県内から調達しており、廃油の収集にはバイオディーゼル燃料を用いる車両を用いていることを確認している。